

2019年度 中小企業者等研修(2日間コース)  
**No.35 経営に活かす「報連相」(名古屋)**  
 ～経営・業務カイゼンにつなげる「報連相」のあり方とは～

研修のねらい	ビジネスコミュニケーションの基本とされる「報連相(報告・連絡・相談)」は、とかく上司と部下との間の規則的な側面、或いは、部下の基本行動的な側面のみが強調されがちです。しかし、「報連相」を広い視点で捉え直すことによって、組織や経営等の改善や顧客との良好な関係構築等に結びつけられることがわかってきています。本研修では、事例やケースなどを通じて、経営改善や業務改善につなげる「報連相」のあり方や新たな切り口について学びます。	研修期間： 2019年6月25日(火) ～ 2019年6月26日(水)
		研修時間：14時間

**カリキュラム**

月日	時間	使用教室	科目	講師	内容
6 / 25 (火)	9:50～10:00	名古屋ダイビルディング 1号館 3階 131 会議室	開講式・オリエンテーション	当機構職員 日本マンパワー	
	10:00～13:00		「報連相」をおおまかに整理・理解する ～様々な「報連相の意義」をどう理解するか～ 【講義・演習】	ユマ人材企画株式会社 代表取締役 報連相コンサルタント 滝澤 道幸  アシスタント 秋田 久美子	「報連相の意義・大切さ」は人によってなぜか大きく違います。「報連相」へのよくある「基本的な疑問」を取り上げ、その意義を考えます。 ・コミュニケーションと「報連相」の関係 ・「報連相」の歴史と意義の移りかわり(重要論から、不要論まで) ・報告・連絡・相談の違い ・社内と社内・外の「報連相」 ・組織(図)と「報連相」の関係(組織と5種類のコミュニケーション) ・「報連相」の本当の意義
	14:00～18:00		経営に活かす「報連相」の考え方 【講義・演習・ケース研究・グループ討議】		経営に活かす「報連相」の考え方と事例によって、自社の課題を見つめ直します。 ・経営方針・組織と「報連相」の関係 ・「指示-報告」型と「連絡-相談」型組織 ・組織活動と「報・連・相循環」の成果 ・ケース研究、討議(テーマ例：働きやすい職場、クレーム報告で不良カイゼン、かたづけ・5S と報連相、組織の不祥事など)
6 / 26 (水)	9:30～12:30			前掲 滝澤 道幸	
	13:30～17:30		報連相カンファレンス(事例検討・発表会) 【グループ討議と全体発表】	前掲 滝澤 道幸 前掲 秋田 久美子	報連相カンファレンス(事例検討・発表会)の手法で自社の課題を整理し、「報連相による問題解決」の考え方と実際に体感していただきます。 ・自社のケース、グループ内発表・討議 ・グループ代表、全体発表・質疑 ・報連相診断と講評・まとめ
	17:30～17:40		閉講式		

※カリキュラムは都合により変更することがあります。